

各委員からの意見

箇所	協議会における意見	修正前	修正（または変更しない場合の理由）
(1) 市民の協働に対する意識の醸成			
3行目	「…理解されているとは言えません」の部分は削除してしまってもよいのでは	協働の手法については～理解されているとは言えません。	一方で、協働の手法についてはまだ定着しているとは言えません。
下から2行目	意欲のある市民だけでなく、市民の意欲を高めるということも入れてほしい。意欲がないのではなく、きっかけがないだけということもあるので、広く受け皿をつくるという意味もある。	意欲ある市民の～	市民の意欲を高め、また意欲ある市民の～
(2) 職員の意識改革及びスキルアップ			
タイトル	職員の意識改革という言葉は、従来の考えが間違っていたかのように聞こえるので、意識の向上とか意識を高めるなどの表現に変更したほうがよい	職員の意識改革	「基本方針」に掲げられた項目なので、そのまま「職員の意識改革・スキルアップ」としたい。
2行目	手間が掛かる場合でも、それによってお互いの意見を深く交換できることがある。	行政だけで行う場合と比べて手間が掛かる場合があり～	行政が単独で行う場合と比べて時間が掛かることなどもあるため、～
3行目	「…消極的になってしまうという意見もあります。」の部分は削除してしまってもよいのでは	市民と市が～消極的になってしまうという意見もあります。	WSで職員自身から出てきた問題提起であり、職員の意識改革の必要性を説明するために、案のままとしたい。
4行目	ワークショップでも、まず職員間の協働が必要なのではないかという意見があった。	これまでの慣例にとらわれずに～	職員同士も連携・協力しやすい仕組みをつくるなど、これまでの慣例にとらわれずに～
(3) 情報共有及び双方向型コミュニケーションの推進			
4行目	文章の修正提案 可能な限り多くの市民や各活動団体が発信する情報を収集したり積極的に情報を受け活用する仕組みを整備し…	市民や各活動団体が～活用する仕組みを整備し	可能な限り多くの市民や活動団体が発信する情報を収集し、また、積極的に情報を受け、活用する仕組みを整備するなど

(4) 協働のコーディネート機能の育成			
(5) 市民活動拠点施設等の有効活用			
(6) 市民自身が市民の活動を支える環境づくり			
(7) 協働事業提案制度の整備			
2行目	ワークショップでも、相談窓口が分からないと言う意見が多かった。	市民団体等に提案や参加を求める制度の整備について～	提案制度についての記述であり、組織に係る記述は馴染まないため、修正しません。
(8) 協働を推進するための組織的な仕組みづくり			
最下行	「協議組織」という表現がよいのか、「協議の場」という表現がよいのかは、第2章の内容で大きく変わってくるものと思いますが、個人的には協議の場という表現がよいのではと思っています	～市民参加の協議組織を設置します。	～市民参加の協議の場を設置します。
(9) 協働事業の評価・検証の仕組みの整備			
(10) 協働の取組を効果的に進めるための行動計画の策定及び条例の整備			